

**製品名: ソニックヘッジホッグ (15Y5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18113**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SHH
別名	TPT; HHG1; HLP3; HPE3; SMMCI; TPTPS; MCOPCB5; Sonic Hedgehog;
遺伝子 ID	6469.0
SwissProt ID	Q15465
免疫原	ヒトソニックヘッジホッグの合成ペプチド

**背景**

この遺伝子は、初期胚のパターン形成に重要なタンパク質をコードしています。腹側神経管、前後肢軸、および腹側体節のパターン

形成における重要な誘導シグナルとして関与していると考えられています。ショウジョウバエのソニックヘッジホッグタンパク質と配列および機能的に類似性を示す3つのヒトタンパク質のうち、このタンパク質が最も類似しています。[ソニックヘッジホッグタンパク質]: ソニックヘッジホッグタンパク質前駆体のC末端部分は、自己タンパク質分解活性およびコレステロールトランスフェラーゼ活性を示します(類似性による)。これらの活性はいずれも、全長タンパク質を2つの部分(ShhNとShhC)に切断し、続いて新しく生成されたShhNのC末端にコレステロール部分が共有結合します(類似性による)。これらの活性はいずれも小胞体小胞体で発生します(類似性による)。ShhCは切断されると、小胞体で分解されます(類似性による)。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ

Human fetal kidney

kDa  
250 -  
150 -  
100 -  
75 -  
50 - ←  
37 -  
25 - ←  
20 -  
15 -  
10 -

ソニックヘッジホッグ (15Y5) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。